

日本財団補助金による 2000年度日中医学学术交流促進事業

②. 学会開催助成

(2) 「第1回日中循環器病シンポジウム」

日本財団助成金による
2000 年度日中医学学術交流促進事業報告書

—学会開催に対する助成—

財団法人 日中医学協会 殿
理事長 中 島 章 殿

平成 12 年 7 月 31 日

報告者氏名 柳本 広二



所属・役職 国立循環器病センター研究所

脳血管障害研究室 室長

所 在 地 〒565-8565 吹田市藤白台 5 丁目

電話 06-6833-5012 内線 2711

講演集・シンポジウム写真等学会に関する資料を添付

学会・学術交流の名称 第 1 回日中循環器病シンポジウム

テ マ 日本及び中国での循環器病および福祉施策の現状と将来

主 催 団 体 国立循環器病センター

代 表 者 菊池 晴彦

期 間 ・ 開 催 地 平成 12 年 7 月 12 日～7 月 14 日 大阪府 吹田市

参 加 者 数 日本側 60 名 中国側 15 名

招 聘 ・ 派 遣 の 目 的 上記シンポジウムへの参加

1. 招聘・派遣研究者 人数 15 人 記入欄不足の場合は別紙を添付。

氏名	所属・役職	研究分野
左 煥彦	中日友好病院 副院長, 脳外科主任教授	脳外科
史 載祥	中日友好医院 心腎内科主任教授	心腎内科
金 恩源	中日友好医院臨床医学研究所 中西医结合研究室教授	中西医结合
程 蘭英	中日友好病院臨床医学研究所 病理生理室教授	病理生理
庄 逢源	中日友好病院臨床医学研究所 血流変室主任教授	血流生理
馬 長生	中日友好病院 心臓カテーテル室助教授	心臓生理
石 效平	中日友好医院 中医処処長, 小児科教授	小児科
柯 元南	中日友好病院 心臓内科主任教授	心臓内科
周 宝玉	中日友好病院 脳神経内科教授	脳神経内科
劉 鵬	中日友好医院 心臓外科副主任	心臓外科
王 武	中日友好医院 CT室助教授	画像診断
王 鳳林	中日友好病院 心臓外科主任教授	心臓外科
買 乃光	中日友好医院 麻酔科主任教授	麻酔科
于 殿文	中日友好医院 外事処	通訳
蔡 福軍	中日友好医院 外事処長副処長	事務

滞 在 期 間 自 平成 12 年 7 月 12 日 至 平成 12 年 7 月 15 日

2.主な滞在日程

月 日	日 程	宿 泊 先
2000年 7月12日（水）	C A 921便にて北京出発、14：05関西空港着 小型バスにて大阪へ移動 第1回日中循環器病シンポジウム参加 会場：大阪サンパレス	大阪サンパレス泊 TEL：06-6878-3804
7月13日（木）	第1回日中循環器病シンポジウム参加 会場：千里ライフサイエンスセンター	大阪サンパレス泊 TEL：06-6878-3804
7月14日（金）	第1回日中循環器病シンポジウム参加 会場：千里ライフサイエンスセンター	大阪サンパレス泊 TEL：06-6878-3804
7月15日（土）	小型バスにて関西空港へ移動 C A 922便にて関西空港より15：35北京へ出発、 帰国	

学会名称 第一回日中循環器病シンポジウム

学会テーマ

循環器病制圧と日中両国の医学および医療技術の交流と進歩

日本側主催者代表者氏名 国立循環器病センター名誉総長 菊池 晴彦

中国側代表者氏名 左 煥球

学会報告

報告者氏名 国立循環器病センター研究所脳血管障害研究室長 柳本 広二

時代とともに益々重要性を増してきた循環器病全般にわたるテーマを対象とし、新たな日中合同のシンポジウムを立ち上げました。今までの中日友好病院および国立循環器病センターの合同シンポジウムで取り上げられてきた動脈硬化、血栓、一次予防に加え、循環器病疾患全領域にわたる予防、診断、治療の現状と将来に関して、会期の2日間、各分野のそれぞれの精鋭である日中の先生方が発表しました。

以下には本シンポジウムで報告された演題名を記載します。まず、動脈硬化症、予防医学、疫学領域では、病理学からみた日本人若年者の動脈硬化の変遷（由谷 親夫）、生活習慣改善による高血圧治療：効果と限界（河野 雄平）、非侵襲診断による動脈硬化の長期観察における変化（都島 基夫）、Development of Blood Stasis Syndrome in Diagnosis and Treatment（史載 祥）、Study of Korea Red Ginseng's Preventive Effect on Hypertensive Retinal Arteriosclerosis in Rabbits（金 恩源）。

動脈硬化、血管病変の基礎研究の領域では、拍動心臓の収縮特性、酸素消費、カルシウム動態（菅 弘之）、酸化 LDL 受容体 LOX-1 の病態生理学的意義（沢村 達也）、脳組織の血管新生と微小循環動態（新見 英幸）、血管内皮細胞の機械刺激受容機構（藤原 敬己）、Nitric Oxide Synthase Activity Change of Cerebral Microvessel and Some Brain Areas during Focal Cerebral Ischemia / Reperfusion in Rats（程 蘭英）、Dynamic Studies on The Interaction of Lymphocyte Function-Associated Antigen-1 (LFA-1) and Intercellular Adhesion Molecule-1 (ICAM-1)（庄 逢源）。

心臓血管疾患の内科的治療に関しては、不安定狭心症に対する内科的治療（野々木 宏）、小児における心筋炎、心筋症の治療（越後 茂之）、特発性心室頻拍に対するカテーテルアブレーション（鎌倉 史郎）、Electrophysiological Characteristics and Effect of Radiofrequency Ablation of Paroxysmal Atrial Fibrillation Originating from The Pulmonary Veins（馬 長生）、Clinical Treatment of Pediatric Myocarditis by Integration of Traditional and Modern Medicine（石 効平）、The Efficacy and Safety of Atorvastatin in Treatment of Hyperlipidemia（柯 元南）。

脳血管疾患に関しては、日本における脳梗塞診療の実態（山口 武典）、心原性脳塞栓症の診断と治療（峰松 一夫）、脳梗塞に対する脳低温療法（成富 博章）、閉塞性脳血管障害に対

する血行再建術（永田 泉）、A Study on the Prognosis of Patients after Stroke during Early Rehabilitation（周 宝玉）、The Surgical Treatment and Prevention of Cerebral Stroke by Carotid Endarterectomy（劉 鵬）、Clinic Experience in CABG of 400 Cases（王 武）、Changes of Cerebral Oxygen Metabolism Induced by Nimodipine in Subarachnoid Hemorrhage Measured by Near Infrared Spectroscopy（左 煥王宗）。

心臓血管疾患の外科治療に関しては、日本における心臓外科の現況（川島 康生）、冠動脈バイパス手術（小林 順二郎）、胸部大動脈瘤の外科治療（安藤 太三）、心臓外科手術における脳障害（畔 政和）、Surgical Treatment of Coronary Disease（王 鳳林）、Application of Thoracic Epidural Anesthesia to Cardiac Surgery（賈 乃光）等の講演がありました。

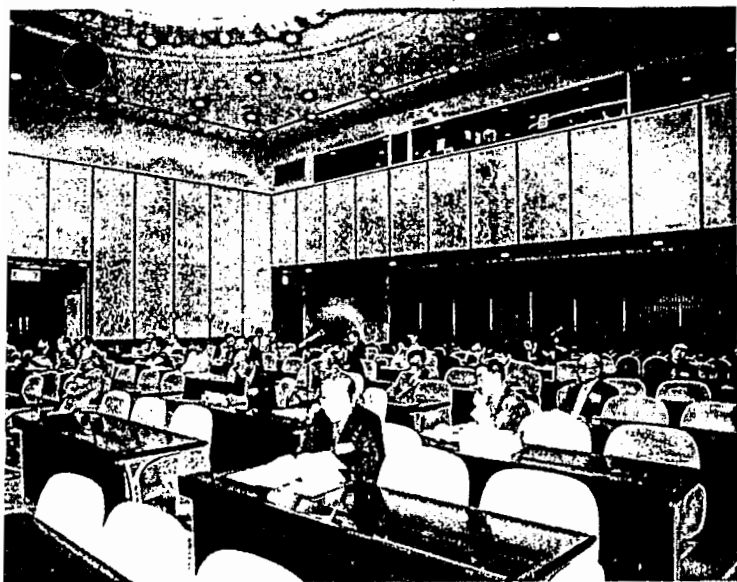
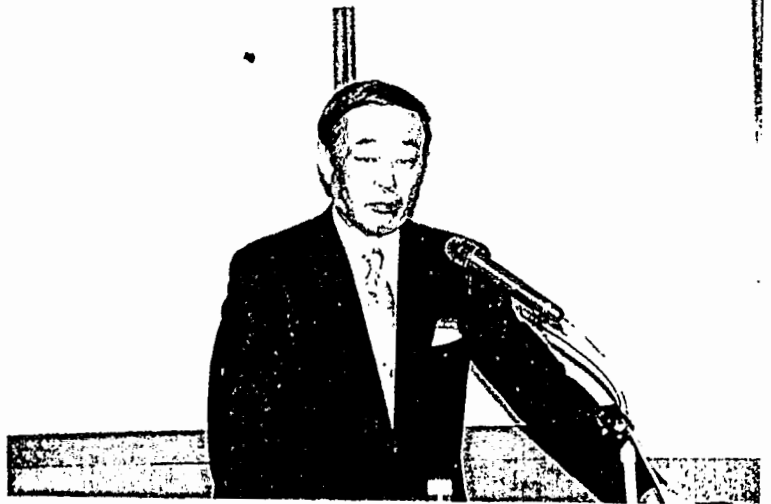
現在（平成9年）、日本では、死因の第一位は、悪性新生物ですが、これに続いて死亡原因の第2位が心疾患であり、統計学的には10万人あたり、112人が年間死亡しています。そして、第3位の死亡原因が脳血管疾患であり、10万人あたり、年間111人がその原因で死亡しています。すなわち、現在の日本では、（悪性新生物）癌疾患で全死亡の3分の1が、そして、他の3分の1が心臓と脳の疾患が原因で死亡していることになります。さらに心臓疾患と脳疾患といういわゆる循環器病は、死亡原因のみならず、その有病者数の多さでも知られ、クオリティオブライフの低下が、社会生活を脅かします。今後、日本における人口構成の高齢化シフトや食生活の欧米化などを背景として、21世紀における重大な社会的問題であることは間違いありません。現在すでに日本が迎えた、また今後進んでいく長寿社会の中で、その予防、診断、治療においてまだまだ解決されるべき問題は未だ山積しています。また、中華人民共和国においても循環器病は、間違いなく重要な疾患であり、その有病者の増加においては、今後、日本と同様の傾向を辿っていくものと考えられます。すなわち、中国国内においても循環器病全般の社会的重要度はますます増加していくことと思われます。現在のまた、今後の循環器病施策のリーダーである中日友好病院への期待は非常に大きくなっています。

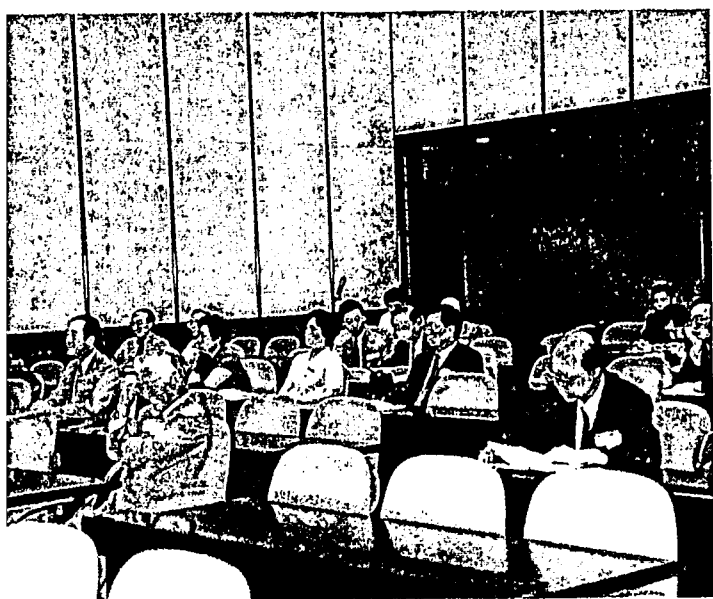
本シンポジウムは、日中の両循環器病センターをさらに発展させるため、また、循環器疾患全般における今後の日中両国の幅広い人的交流および学術交流の新たな芽生えとして機能することを目指し、盛会裏に終わりましたことをご報告申し上げます。

第1回日中循環器病シンポジウム The First China-Japan Symposium on Cardio-Vascular Diseases



開会式
菊池 晴彦 (国立循環器病センター名誉総長)





教育講演 1

座長：菊池 晴彦（国立循環器病センター名誉総長）



川島 康生（国立循環器病センター名誉総長）
「日本における心臓外科の現況」



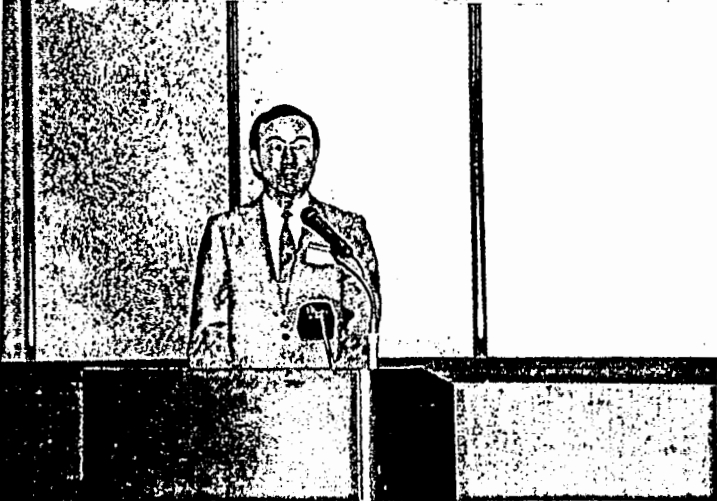
シンポジウム 1：動脈硬化症・予防医学・疫学
座長：尾前 照雄（国立循環器病センター名誉総長）



由谷 親夫（国立循環器病センター病理部部長）
病理学からみた日本人若年者の動脈硬化の変遷



野 雄二（国立循環器病センター高血圧腎臓内科医長）
透析による高血圧治療：効果と限界



都島 基夫（国立循環器病センター総合外来科医長）
非侵襲診断による動脈硬化の長期観察における変化



戦 祥（中日友好医院心腎内科主任教授）
Development of Blood Stasis Syndrome in Diagnosis and Treatment



源 (中日友好医院臨床医学研究所中西医结合研究室教授)
of Korea Red Ginseng's Preventive Effect on Hypertensive Retinal
sclerosis in Rabbits



教育講演 2
菅 弘之 (国立循環器病センター研究所長)
「拍動心臓の収縮特性、酸素消費、カルシウム動態」

シンポジウム 2 : 動脈硬化、血管病変の基礎研究



長 : 松尾 壽之 (国立循環器病センター研究所名誉所長)



沢村 達也 (国立循環器病センター研究所細胞生物学研究室長)
酸化 LDL 受容体 LOX-1 の病態生理学的意義



加 久雄 (国立循環器病センター研究所病因部部長)



新見 英幸 (国立循環器病センター研究所脈管生理部部長)
脳組織の血管新生と微小循環動態

敬己 (国立循環器病センター研究所循環器形態部部長)
内皮細胞の機械刺激受容機構



程 蘭英 (中日友好医院臨床医学研究所病理生理室教授)
Nitric Oxide Synthase Activity Change of Cerebral Microvessel and
Brain Areas during Focal Cerebral Ischemia / Reperfusion in Rats



逢源 (中日友好医院臨床医学研究所血流変室主任教授)
Lymphocyte Function-Associated protein-1 (LFA-1) and Intercellular Adhesion Molecule-1 (ICAM-1)



シンポジウム3：心臓血管疾患：内科的治療
 長：宮武 邦夫（国立循環器病センター心臓内科部長）



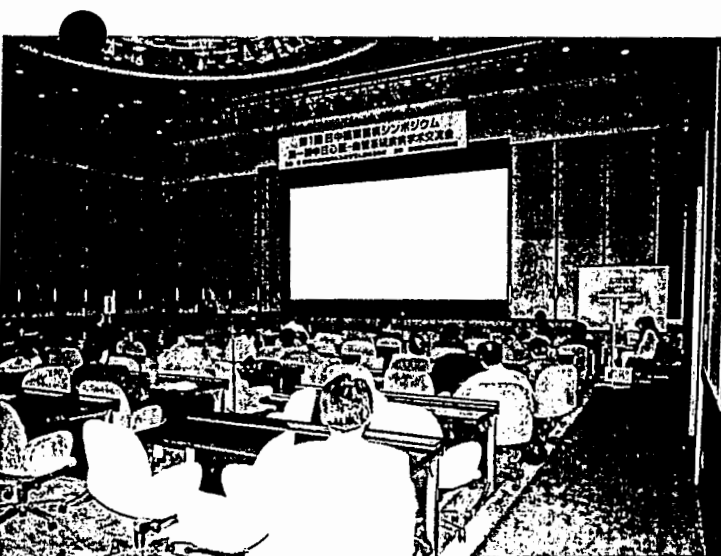
野々木 宏（国立循環器病センター心臓血管内科部長）
 不安定狭心症に対する内科的治療



越後 小 茂之（国立循環器病センター小児科部長）
 おける心筋炎、心筋症の治療



鎌倉 史郎（国立循環器病センター心臓血管内科医長）
 特発性心室頻拍に対するカテーテルアブレーション





馬 長生 (中日友好病院心臓カテーテル室助教授)

Electrophysiological Characteristics and Effect of Radiofrequency Ablation of Paroxysmal Atrial Fibrillation Originating from The Pulmonary Vein

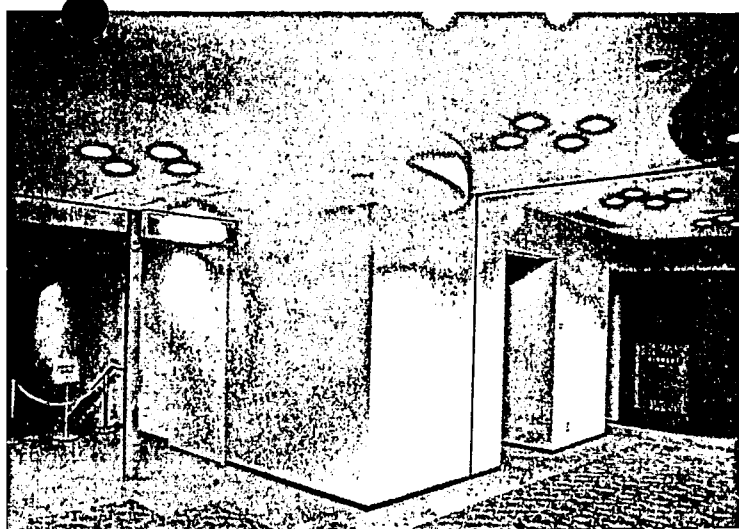


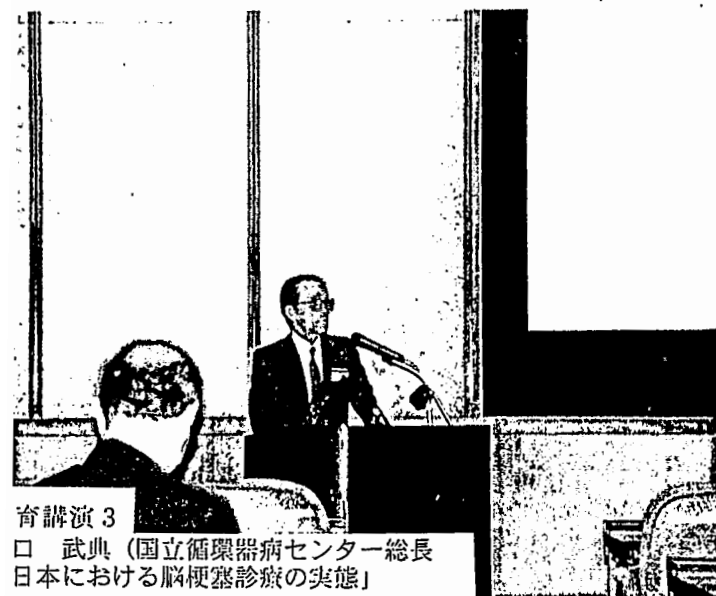
柯 元南 (中日友好医院心臟内科主任教授)

The Efficacy and Safety of Atorvastatin in Treatment of Hyperlipidemia



石 効平 (中日友好医院中医処処長, 小児科教授)
Clinical Treatment of Pediatric Myocarditis by Integration of Traditional and Modern Medicine



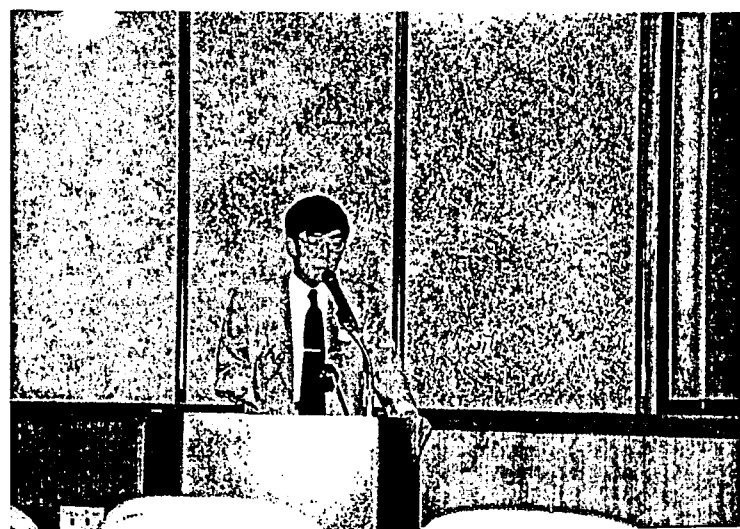




峰松 一夫（国立循環器病センター脳血管内科部長）
心原性脳塞栓症の診断と治療

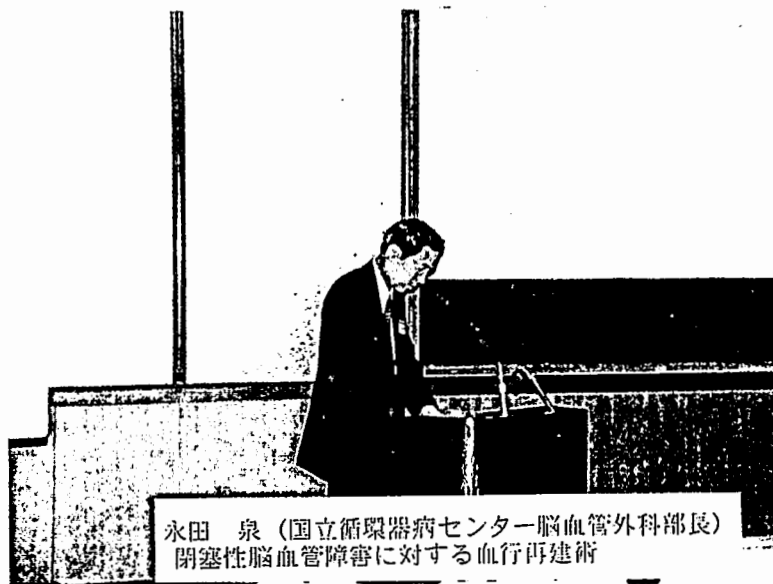
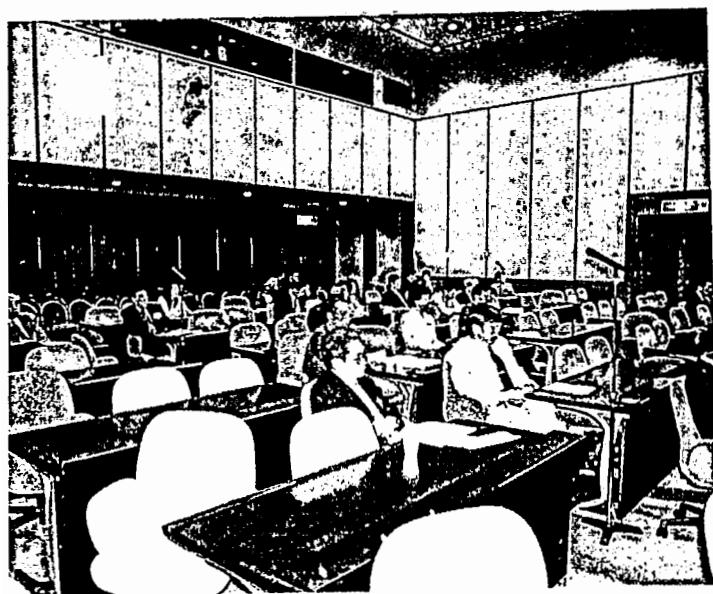
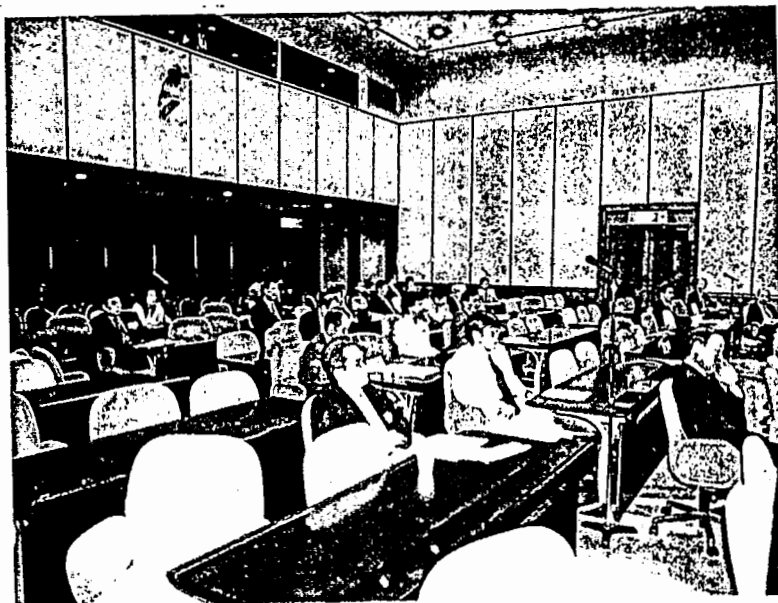


座長：緒方 純（国立循環器病センター集団検診部部長）



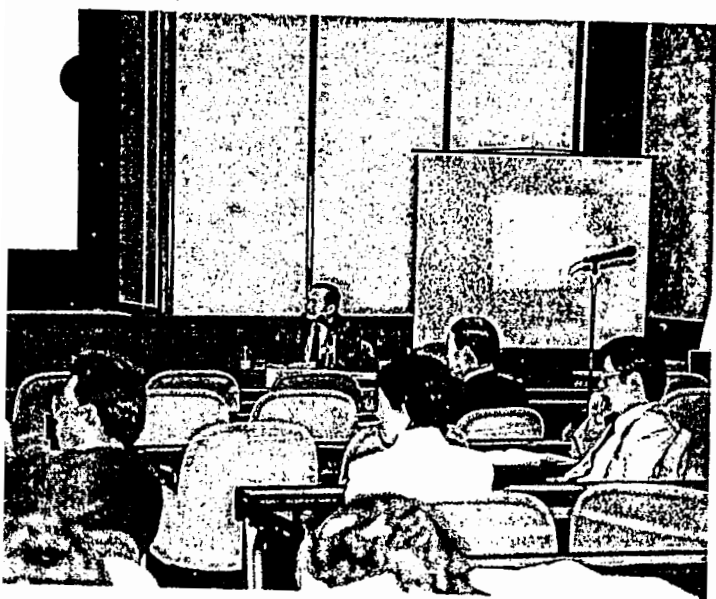
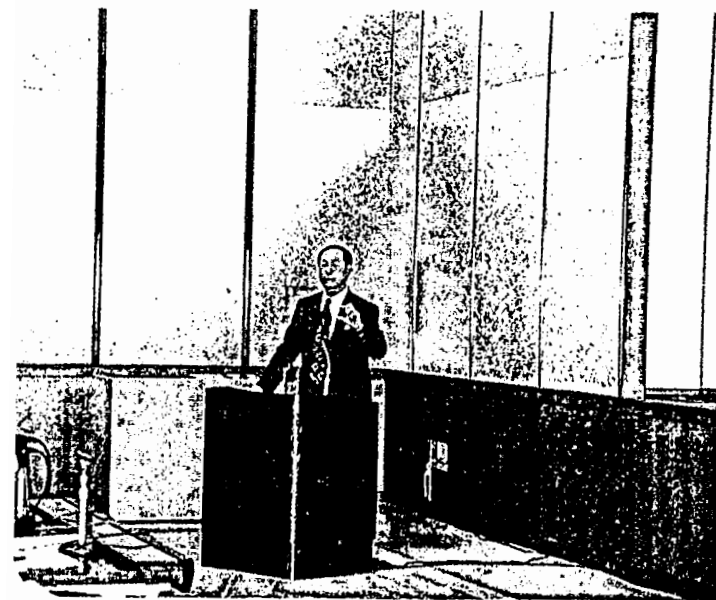


成富 博章（国立循環器病センター脳血管内科部長）
脳梗塞に対する脳低温療法



永田 泉（国立循環器病センター脳血管外科部長）
閉塞性脳血管障害に対する血行再建術





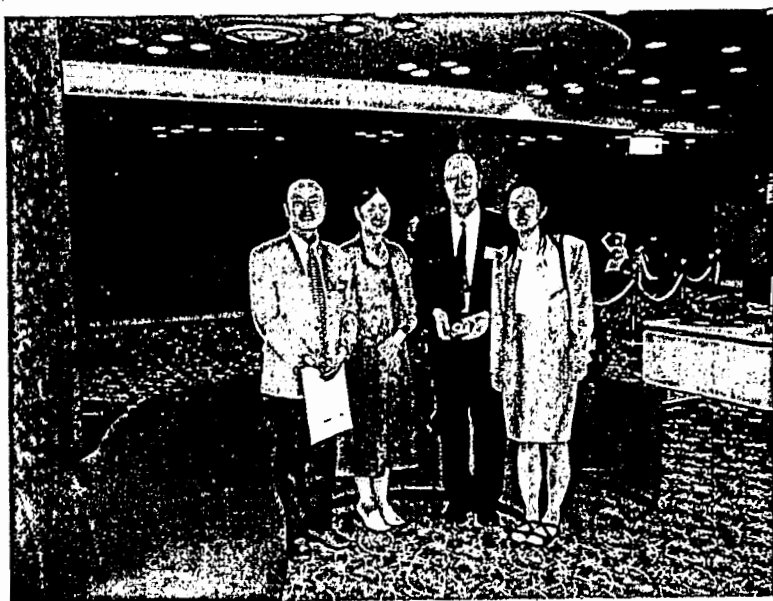
王 武 (中日友好医院 CT 室助教授)
Spiral CT Angiography Detecting Cerebral Aneurysms





煥堯、(中日友好医院副院长, 脑外科主任教授)
anges of Cerebral Oxygen Metabolism Induced by Nimodipine in
arachnoid Hemorrhage Measured by Near Infrared Spectroscopy





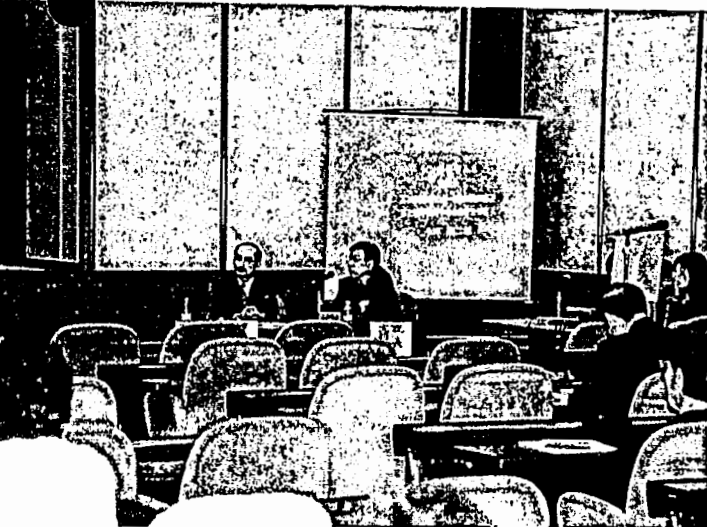
月 14 日 (金) 第 2 日目 (午後)



シンポジウム 5 : 心臓血管疾患 : 外科的治療
座長 : 北村 惣一郎 (国立循環器病センター副院長)
王 鳳林 (中日友好医院心臓外科主任教授)



小林 順二郎 (国立循環器病センター心臓血管外科医長)
冠動脈バイパス手術

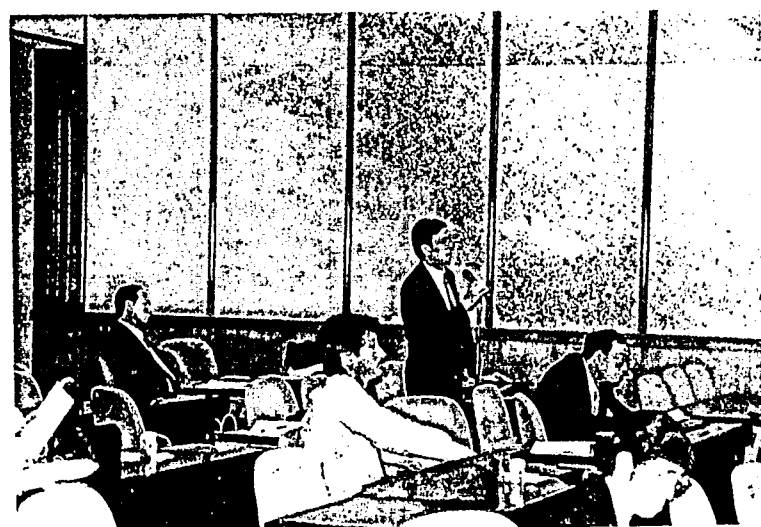


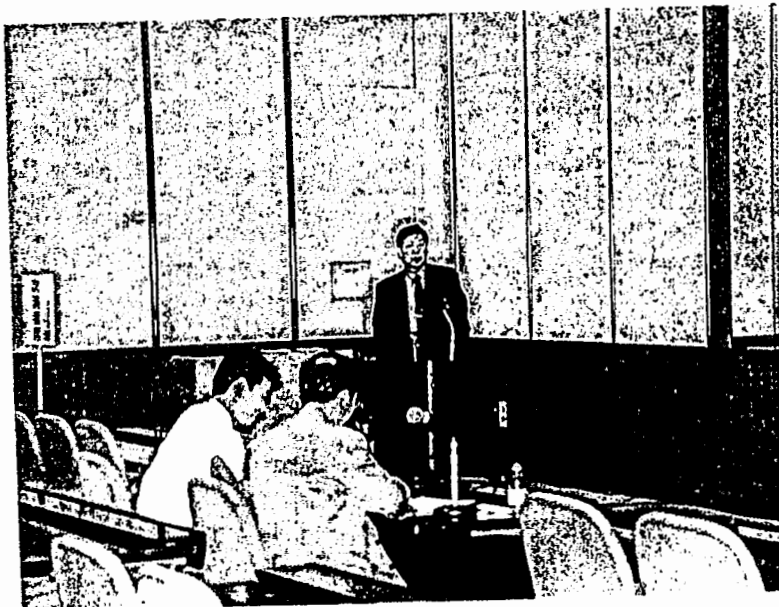
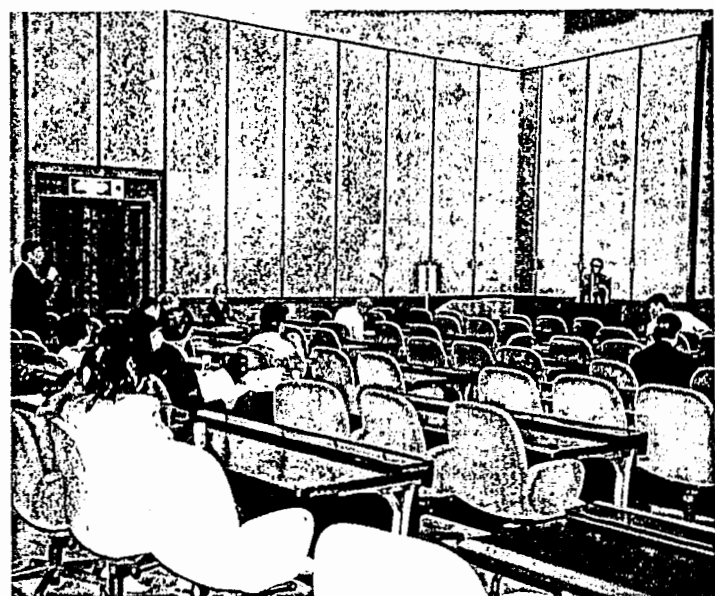


安藤 太三 (国立循環器病センター心臓血管外科医長)
胸部大動脈瘤の外科治療



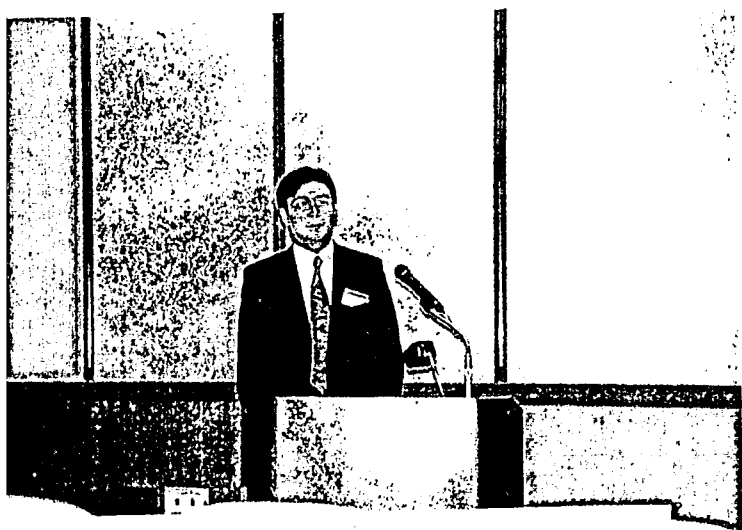
畔 政和 (国立循環器病センター麻酔科部長)
心臓外科手術における脳障害



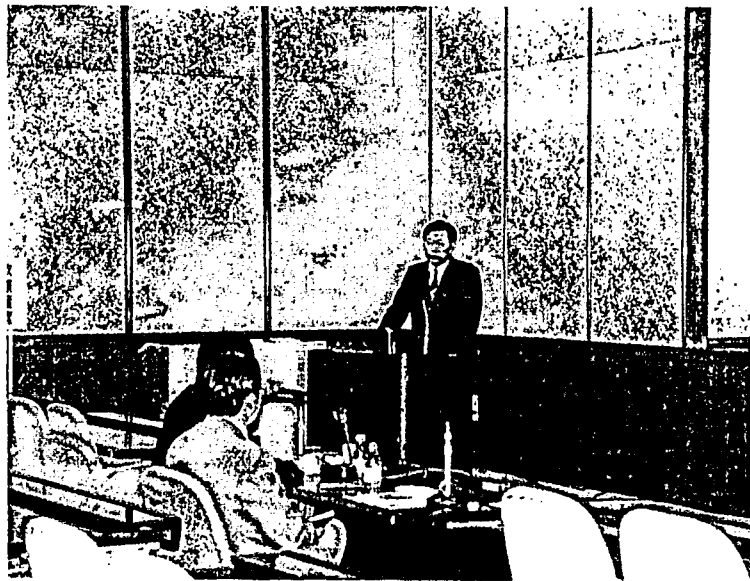


王 鳳林 (中日友好医院心臟外科主任教授)
Clinic Experience in CABG of 400 Cases





賈 乃光 (中日友好医院麻醉科主任:教授)
Application of Thoracic Epidural Anesthesia to Cardiac Surgery



式
武典 (国立循環器病センター総長)

